

育 夢



深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子 平成30年11月7日(水)

みんないい顔で 「交通安全宣言」

昨日6日の道新朝刊「オホーツク遠軽紋別版」に、前号で紹介しました「交通安全宣言」についての記事と、設置された看板と共に笑顔満開の子どもたちの写真が紹介されました。

また、10月には、ありがたいことに国道239号線に、七重地区の新興住宅街と中学校側をつなぐ横断歩道を村で設置していただきました。

この子どもたちの笑顔を守るためにも、改めて交通事故の無い、安全な村づくりを皆でつくりたいものです。



北海道新聞

2018年(平成30年)11月6日(火曜日)

交通事故死ゼロ道内最長

西興部3校 看板一新

「9千日」目指し標語統一

【西興部】交通事故死ゼロの道内最長記録を更新している西興部村で、村内の3小中学校が交通安全宣言の標語を統一し、各校が掲げる看板を一新した。村内では1995年1月から交通事故死がなく、2017年12月、後志管内泊村を抜いて道内最長に。今月5日現在、8679日を記録する。

西興部、上興部の2小学校と西興部中は08年、交通事故死5千日に向け、それぞれ交通安全宣言を行い、看板を設けた。10年が経過したことから、来年9月21

日の事故死ゼロ9千日達成に向け、児童生徒の交通安全の意識をより高めようと、標語を統一した。

新たな標語は「交通事故死ゼロ9千日、1万日をめざす」「登下校の時は信号や自動車に気をつけ交通事故に合わないようにする」「自転車に乗る時は、交通ルールを守り、安全に行動することを誓う」の3項目。

縦90センチ、横1・8メートルの看板に記し、掲示した。10月26日に村公民館で行われた子ども音楽祭で、野原稔人君(西興部小6年)、江川夢来さん(上興部

小6年)、蓮香桃夏さん(西興部中2年)の3人が標語を読み上げた。野原君は「事故死ゼロがずっと続いてほしい」と話していた。(川上直弘)



新しい行事「西小親子まつり」へのご理解を

昨年度まで「西小まつり」として、広く地域の方にもご案内してきた秋の参観日ですが、今年度からは、西小の子ども間をもとより、親子の絆や各ご家庭間の交流を深める行事「西小親子まつり」として11月17日(土)に開催することとし、現在、各クラスで行う事も決まったところです。

そこで、保護者の皆様には申し訳ございませんが、8時20分からの準備時間からのご参加をお願いいたします。詳しくは、今後の各クラスの学級だよりをご覧ください。

また、参加は本校児童のご家族とさせていただきます。本行事が軌道に乗り、多くの方の参加体制が取れるようであれば、後には広くご案内をととも考えておりますのでご容赦下さい。

各クラスのメニュー

- 1 学年「すごろくたからさがしゲーム」
- 2 学年「魚つり」
- 3・4 年「新記録を目指せ」
- 5・6 年「ホットケーキ」





平成30年度 西興部小学校 前期 成果と課題

中学校・そして未来へ

重点目標

はつらつ・読み書き

～子どもたちの心身の元気を元気にし、学校教育の開始「子どもたちの心身の元気を拓く！」

平成30年度前期、西興部小学校の成果と課題について報告いたします。まずは、諸調査やアンケートでは表出されませんが、一層の成果のとして、見えない力

リキラム「育み環境」の一層の整備を上げたいと思います。望ましい生活や知的好奇心をくすぐるような新たな校内環境として、2階なかよしホール前廊下に、栄養教師と図書担当者の創意により、行事食や食事マナーなどのテーマを決め、関連図書やカードを置くようになりました。また、グラウンド遊びの拠点として、勝手に口にグローブやサッカーボールを教諭が常設しました。

他にも、教職員の手帳も、自ら廊下と機能性ある線へと、時には色を揃える遊び心を入れながら定置してきています。更に、廊下歩行や適切な音量で話すなど、時と境に即した、落ち着いた環境づくりの一員として教職員が働きかけています。

子どもたちも、あらゆる事に対し、好き嫌いが減りました。食材も教科も仲間も、苦手はあっても、いつかは克服したい自分の課題として受け止めてくれるようになりました。そのような落ち着き安定した環境が整っているからこそ、「学習環境の充実」「学習過程

の確立」「指導方法の改善」と共に、学力・体力の保証と新学習指導要領に即した授業改善が推進されているものと分析します。

課題では、3領域別で、学力は「読む力」、豊かな心は「道徳科の横式授業」、体力は「走能力・スピード」が上げられますが、課題意識を共有し、改善プラン等で具体的な対応に取り組んでおられますので、総論を見ながら必要に応じて更なる改善策を講じて参ります。

前期からの引き続き課題は「連携の準備強化」です。31年度から導入されるコミュニケーション・スキル、再来年度から完全実施となる学習指導要領では、学校段階間、地域・保護者との強い連携・協働下での学校運営となりますが、その一層の基盤となる「教育目標達成を目指す教育課程に基づいた学校運営」への理解浸透が、引き続き大切であると考えます。

後期もあらゆる場での「ブランドデザイン」や「学校評価」の公表と説明を行い、その準備を整えて参りたいと考えておりますので、今後とも本校教育へのご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西興部小学校長 望見 貴史

【教育課程の編成】

【児童の発達を踏まえた指導】

研究主題

主体的に考え、学び合う子どもたちの育成を目指して

【仮説】「書く活動を取り入れることで、思考力を高める」「話し合う活動を通して、互いに考え深めることができる」

【教育課程の実施】
・主体的な学び
・対話的な学び
・深い学び

【学校の指導体制の充実】
・家庭・地域との連携
・協働

【学校評価の充実】

【学習評価の充実】



